# ゴーヘッズ 速報

Goaheads

第３０号　平成２１年　９月２８日

*またまた火を吐く竜のバット、そして達の安打がチームを救った！*

## きっちり抑えたキャプテン政司の好投！

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | R |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| G | 5 | 3 | 1 | 1 | | | | | | 10 |
| S | 3 | 5 | 0 | 1 | | | | | | 9 |

９／２６（土）本日２試合目を大井埠頭公園野球場に出向き、シャイングスターズとオープン戦を行った。終わってみると非常に大味なゲームのように感じるかも知れないが、実はそうでは無い。接戦のゲームを勝利したのである。その内容も同点に追いつかれ、得点し、投手が踏ん張り勝利した、という非常に内容の有るゲームであったと思う。献上した得点の中で、結果、安打で有るが、内容は照明に入る不運な打球、不慣れなポジション故、出過ぎて戻りきれなくなったプレー、先発投手の疲れなどなど、本調子なら、もっと与えた得点が少なかったと思える失点であった。そんなチームの中でも一際目立ったのが、今日１７ｋｍのアップを終え、駆けつけた、キャプテン政司、このアップは、現在アースマラソンを行っているカンペイちゃんにも匹敵する内容である。記録は、打者１５人を被安打２、四球１と非常に素晴らしい内容である。そして得点をゲットした打線も小花火のようであった。江越の２本の２塁打、哲也・山田の２塁打、そして、１試合目同様またまた、竜のバットが火を噴き、１塁線３ベースヒットを放ち、最後は達脇の内野安打がチームの勝利の繋がった。

今まで、ボールが見づらいから、ナイターのゲームを組むのを躊躇していたが、今後の活動の展開に今日のゲームは大きく感じるものがあった。横浜の公園野球場のナイターも決して充分なナイター照明とは思わない。しかし、我がチームの悲願は区民大会での勝利である。その区民大会は、ナイターでの対戦が無いとは限らない。公式戦だから、負ければ終わり、その中で、ボールが見づらかった、照明に入ってしまったでは、取り返しがつかないのでは？と今日のゲームで感じた。ベンチスタートの私は、何度も何度も照明にボールを入れ、状況を確認したが、やはり、角度によっては、魔球のように消えてしまう。これでは、いけない、見づらいとかではなく、その環境に慣れなくては、と大きく感じた。これから、秋に向かいナイターは少し冷えるかもしれないが、悲願の区民大会勝利に向かい、相手・場所を選びながら、ナイターの試合も今後は自発的に組もうと感じた今日のゲームであった・・・　しかし、１０人目の敵が、チームに居たとは・・・・